

# 令和3年度 学校教育アンケート集計結果について

\* 配布した学校だよりのグラフを見やすいように変更しました。

12月に実施致しました学校教育アンケートの集計結果についてご報告致します。

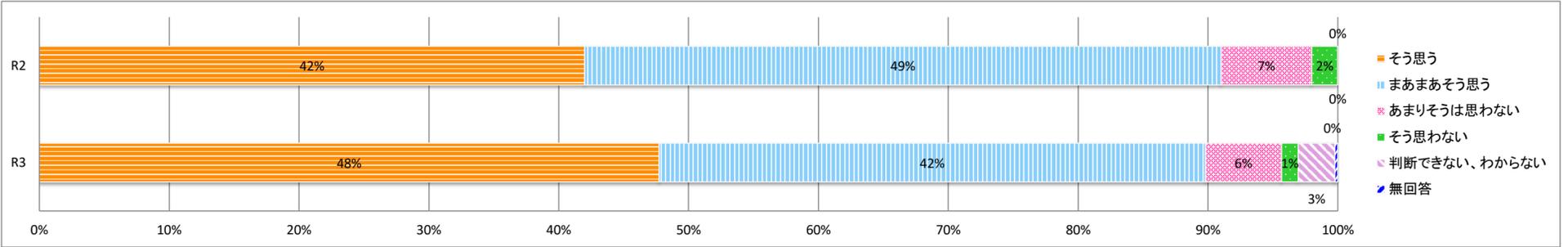
今年度は、紙媒体ではなくWeb上で回答をいただく方法で実施しました。

回収率は、一昨年度は85%、昨年度は35%、今年度は64%となりました。ご多用の中、本校の教育活動に関心を寄せ、ご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます、ここに集計結果をご報告致します。

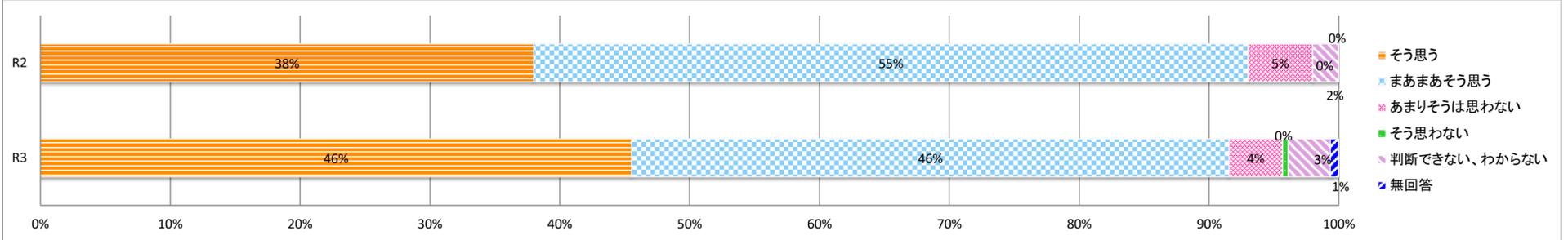
いただいた結果をもとに、よりよい運営を行うと共に、学校として保護者の方々への活動のねらいや様子をお伝えする場や機会を増やしていきますので、今後ともより一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 【1】楽しい学校

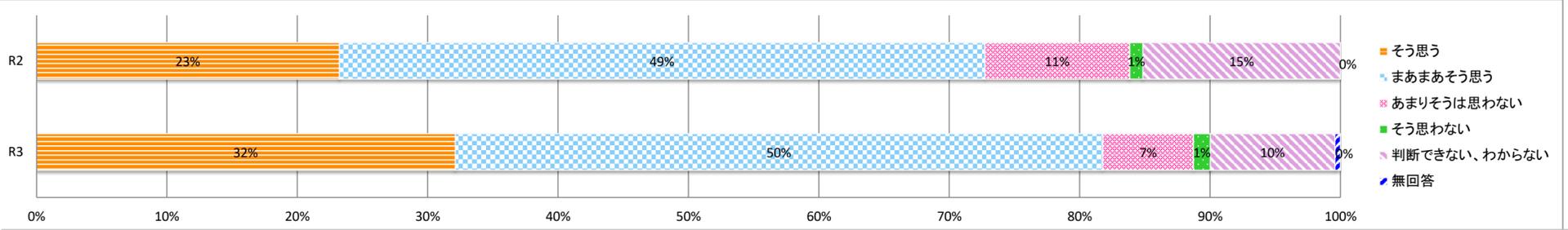
1 お子さんは、学校生活を楽しいと感じていますか。



2 お子さんは、友達と仲良く過ごしていると思いますか。



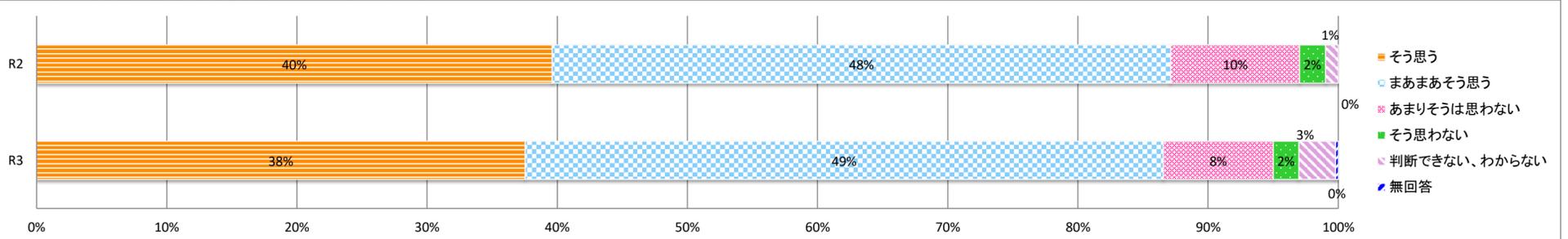
3 学級や学年でまとまりよく生活していると思いますか。



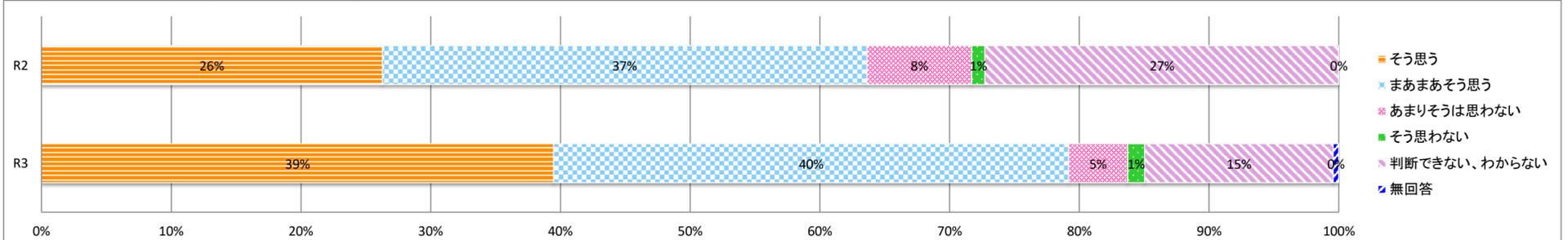
学校の楽しさに関しては、約90%のご家庭から「おおむね満足」と回答をいただきました。友達関係については、昨年下がった「そう思う」が再び以前の水準に、戻ってきました。コロナ禍での学校生活が2年目となり、制限がある中でも工夫して学習や生活をし、友達とも遊ぶということが新しい日常として定着しつつあることを感じます。また今年度は昨年度と比べると、体育授業発表会のように学年単位で活動をしたり、学年では人数が多すぎる場合はクラスごとにするなどの変更をして、中止になっていた行事や活動を行うことも増えてきました。そのことが、3番の項目の評価にもつながっているのではないかと思います。

## 【2】充実した学習指導

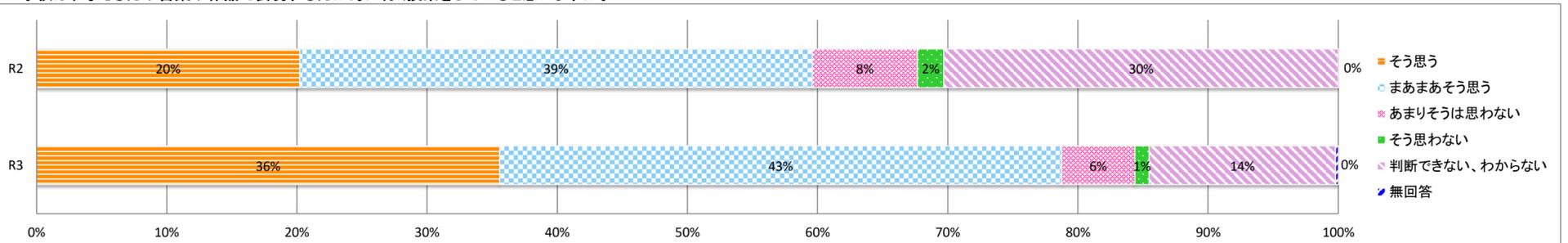
4 お子さんは、学習の基礎・基本を習得していると思いますか。



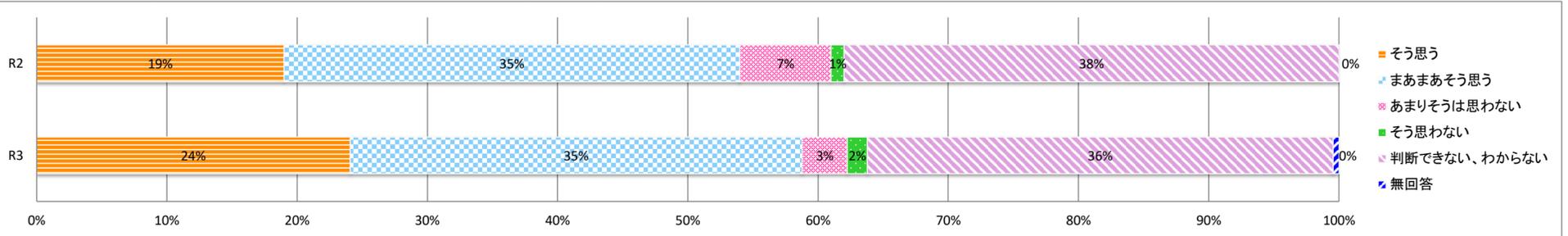
5 学校は、分かりやすい授業を工夫していると思いますか。



6 学校は、考える力や言葉や作品で表現する力が身に付く授業をしていると思いますか。



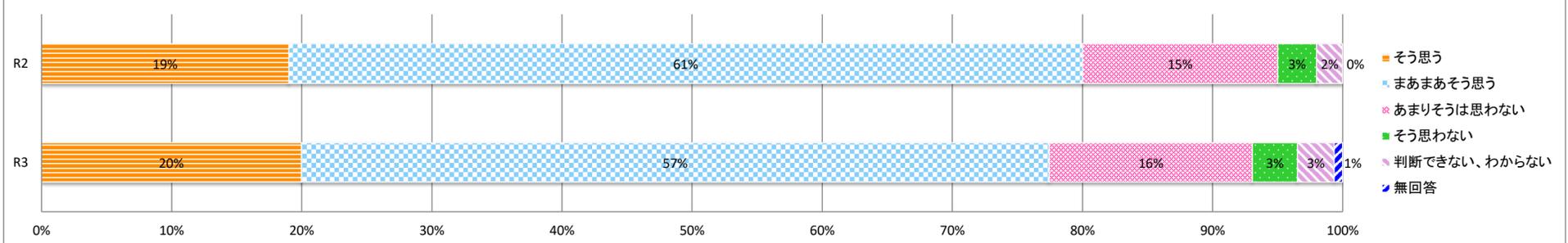
7「特別の教科 道徳」において、よりよく生きていくための基礎となる道徳性を養う授業をしていると思いますか。



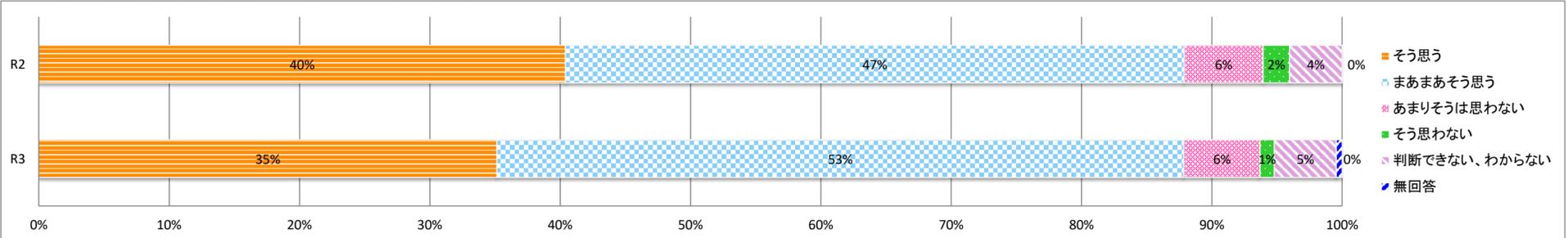
学習の基礎基本については、昨年度とほぼ変わらない数値となりました。9月に午前授業となりましたが、他の月の時間割を変更するなどして、教科の時間数は基準以上を確保することができました。コロナ禍であっても学習の保証ができたことは良かったです。授業に関する項目では、昨年度は「判断できない、わからない」という回答が大幅に増えたのですが、今年度はそれがコロナ禍前の水準に戻りつつあります。体育授業公開・展示会の実施や、2回ではありましたが、学校公開で保護者の方に授業を見ていただくことがこの回答につながっているのでしょうか。タブレットが本格的に導入されたことで、担任と子どもたちのつながりややりとりの様子が見えやすくなっていることも考えられます。道徳地区公開講座が中止になったことで、保護者の方には道徳についてお伝えする機会が少なくなりましたが、校内研究で2年間道徳について取り組んできたことが生かされていることがこの結果からもわかりました。自由記述には、HPの更新頻度を上げてほしいというご意見もいただきましたが、教員の仕事を増やす方向ではなく、生の姿を見ていただく機会が多くなることを願いたいと思います。現在は各学年が月に一度のホームページ更新を目指しています。タブレットを使った授業や子どもたちの活用技能の向上についてのご意見もありました。現在は教員個人のスキルに頼っている部分が多いですが、様々な実践例が蓄積されていくことで、教員全体の指導技術が向上し、子どもたちに返していけるようになって考えています。

【3】生活指導

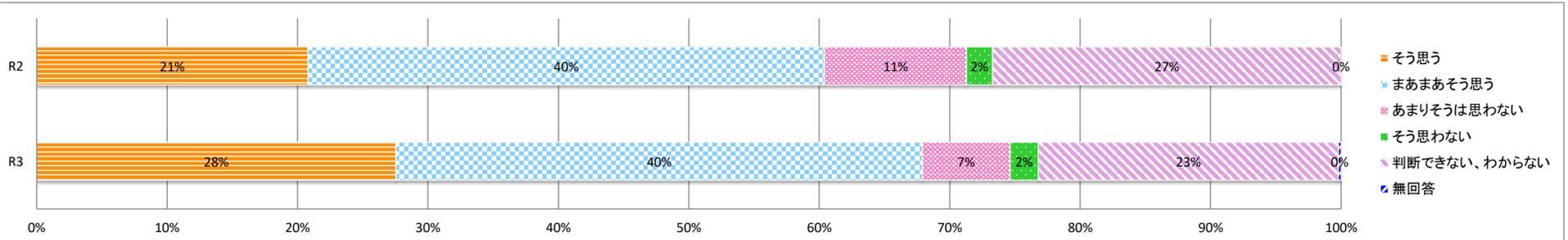
8 お子さんは、場に応じた挨拶や言葉遣いが身に付いていると思いますか。



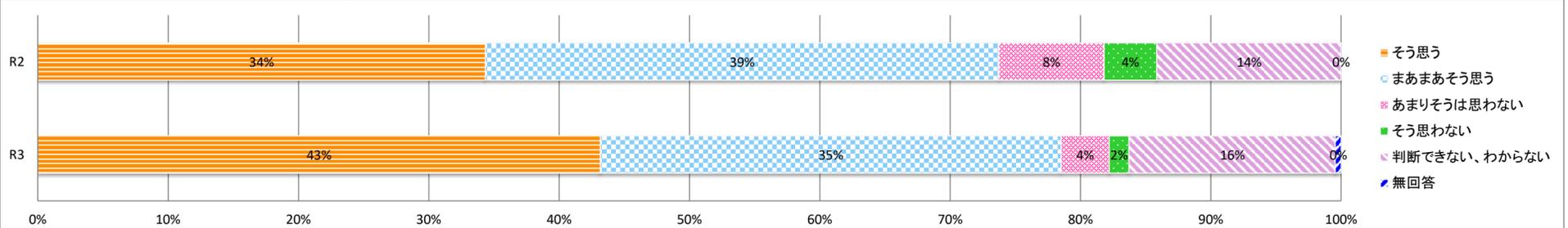
9 お子さんは、集団生活のきまりをきちんと守っていると思いますか。



10 学校は、子供同士のトラブルに適切に対応し、早めに解決できるよう努力していると思いますか。



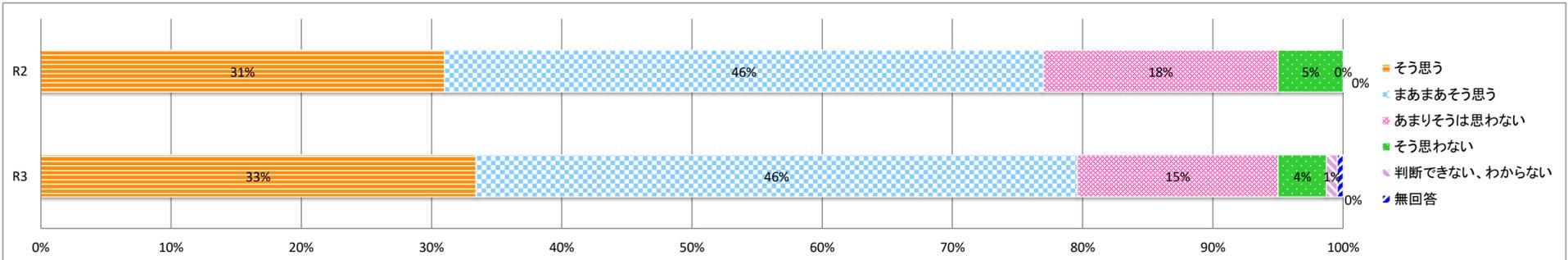
11 学校は、けがや病気の際の配慮や連絡、対応を十分していると思いますか。



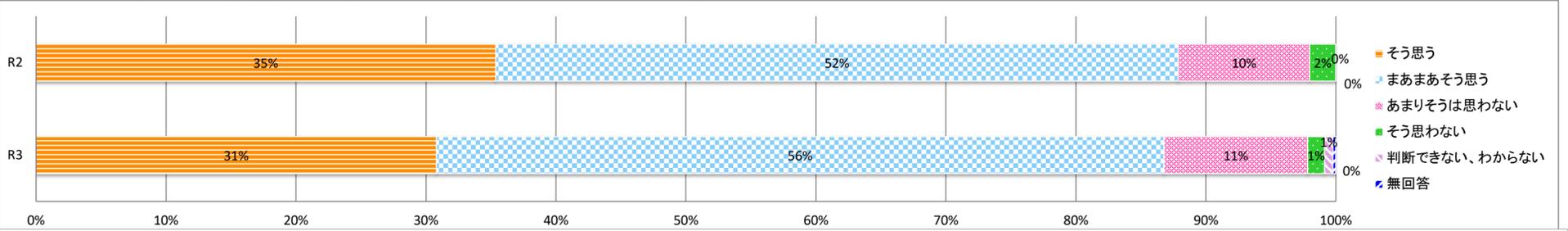
全体的に見ると、肯定的な意見が増えています。クラス、学年、学校とそれぞれの単位でさまざまな取り組みを行っている結果もあるかもしれませんが、ご家庭で意識されていることが大きいと思います。集団生活のきまりについては「そう思う」が下がっています。自由記述にも様々なご意見をいただいています。教員は、全ての子どもをクラスや学校の一員として同じように接しているつもりですが、保護者の方から見ると、そう感じないこともあることが伝わってきました。ご意見を真摯に受け止め、「全員同じように接する」のではなく「個々に応じて接する」ことが大切だと共通理解していきたいです。トラブルへの対応については、肯定的な評価が増えています。学校では、担任だけでなく多くの大人の目で子供たちを見守り、トラブルに対して適切に対応できるよう努めています。けが等の対応についても肯定的な評価が増えています。「首から上の怪我」についてはすぐに管理職に報告し、必ず保護者に連絡することを徹底していますが、そのことが浸透し始めているのかもしれない。怪我をした児童がエレベーターを使うときに常に大人が付き添う等の配慮もしています。

【4】家庭教育

12 お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。



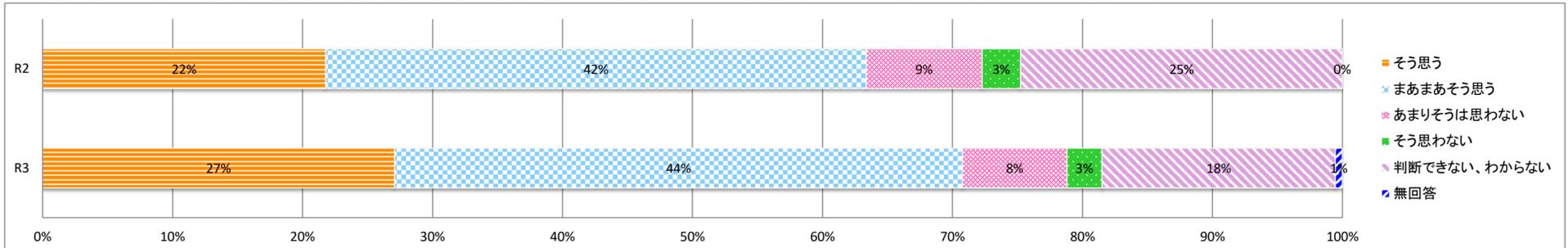
13 お子さんは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ)が身に付いていると思いますか。



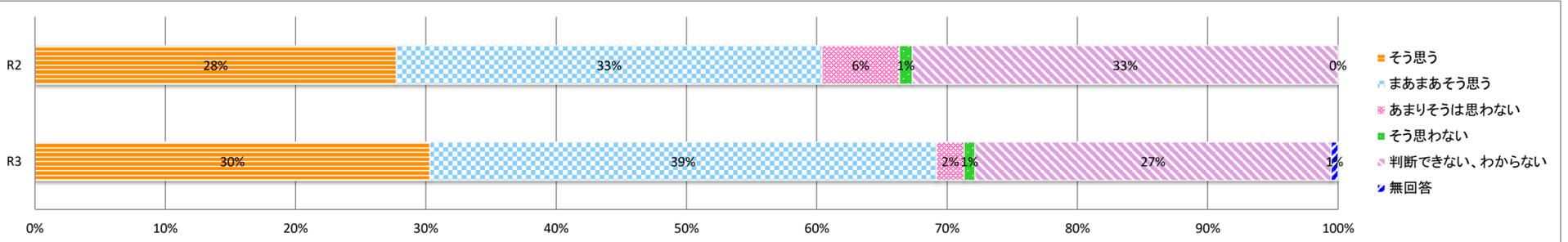
家庭学習については、昨年よりも肯定的な評価が増えています。今年度はタブレットが正式に導入された1年目となりました。各学年・クラスごとに工夫をし、双方向型の家庭学習を試しています。感染予防のための欠席や学級閉鎖の際もタブレットが生かされました。今後も試行錯誤を重ね、他校の実践事例を取り入れるなどして家庭学習の内容も変わっていくことが予想されますが、特にICT関係はメリットとデメリットが隣り合わせとなっているため、ご家庭と連携していくことはますます大切だと考えています。

## 【5】特色ある教育活動

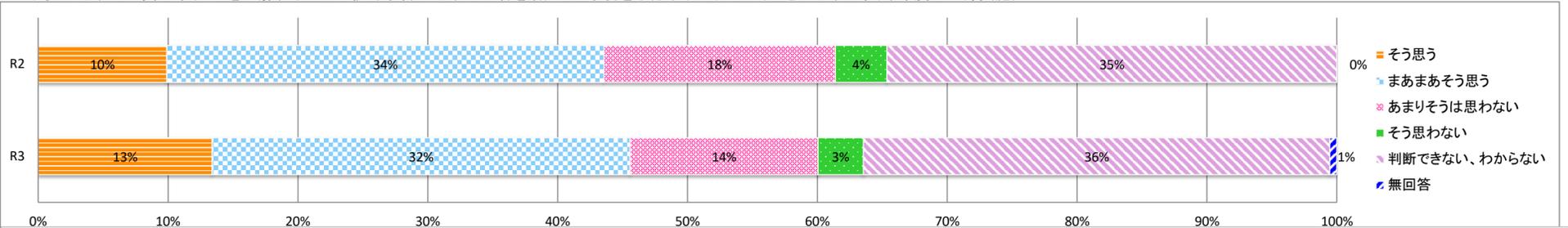
14 朝読書や読み語り、区立図書館との連携など、読書活動を充実させ、感性や想像力を育てる工夫をされていると思いますか。(今年度は保護者ボランティアの活動はありませんでした)



15 特別支援学級(さくら学級)との交流、縦割り班遊び等は、自他の理解や年齢に応じた役割を果たすことにつながっていると思いますか。(今年度は一部実施)



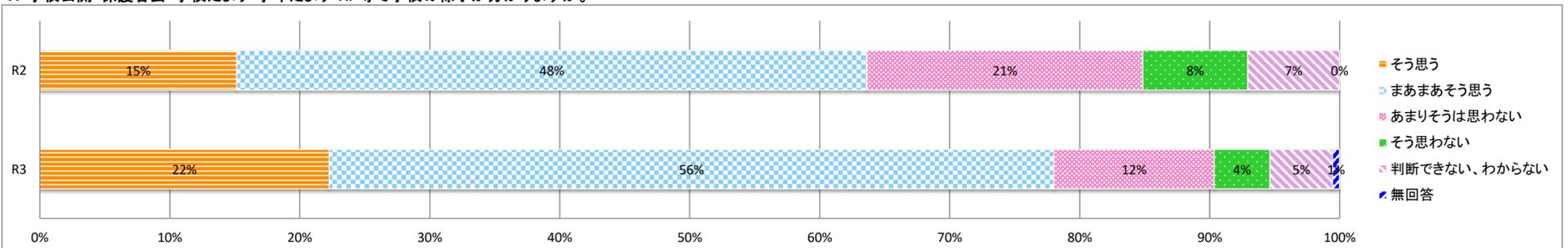
16 子供が地域の一員であることを理解するための校外学習や地域の人材を活用した学習を十分取り入れていると思いますか。(今年度は一部実施)



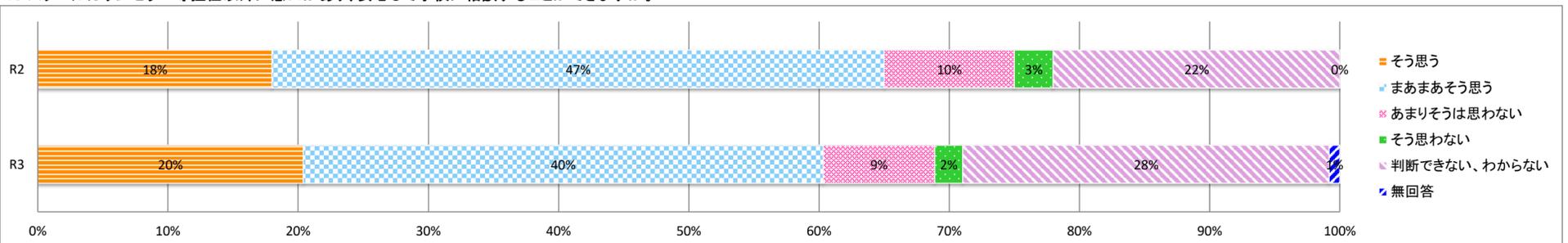
昨年度よりも肯定的な評価がどの項目でも増えています。少しずつではありますが、何もできなかった昨年度と比べ、感染予防と活動の両立ができるようになってきたことが大きいと思われます。保護者ボランティアの方に読み語りをしていただくことはできませんでしたが、朝読書などを通して一人で本を読む習慣を身に付けることができたのではないかと考えています。今年度は、さくら学級との交流は、体育授業公開と一緒に練習をし、短距離走と表現を発表することができました。また、多くのクラスの児童が交わる縦割り班遊びの代わりに、低と高の2学年が一緒に遊ぶ「ペア年遊び」を行いました。どちらも教員の評価は好評でした。コロナの状況を見ながら、来年度も工夫した活動を行っていきたいと考えています。また、特別支援学級の教育課程を大切にしながら、通常の学級との交流を増やす方法も検討していきたいと思っています。外部の人材との交流も少しずつ復活しています。オリバラの講演会として、ピアノの演奏を生で

## 【6】家庭・地域との連携

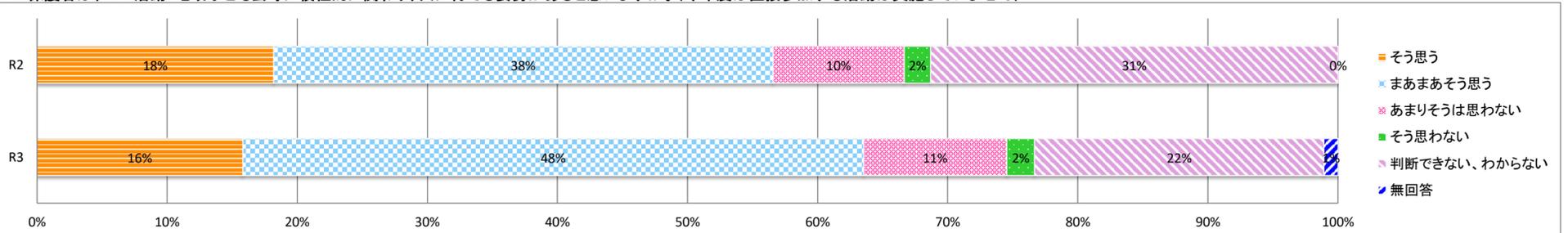
17 学校公開・保護者会・学校だより・学年だより・HP等で学校の様子が分かりますか。



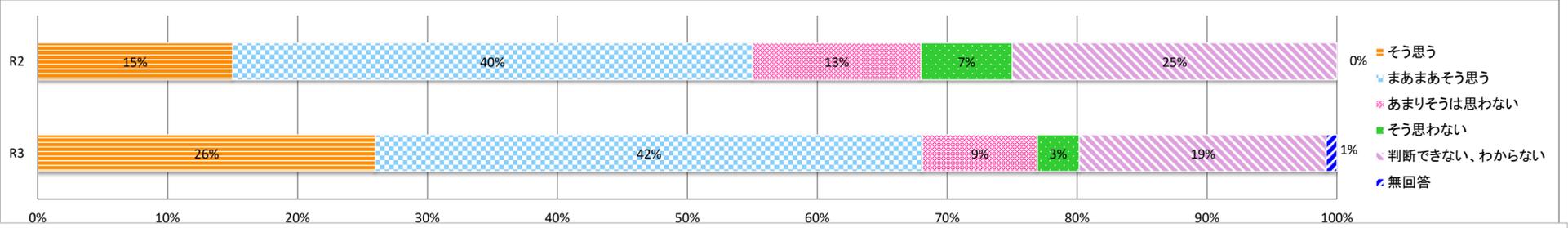
18 スクールカウンセラー等担任以外に窓口があり、安心して学校に相談することができますか。



19 保護者は、PTA活動・地域子ども会等に積極的にに関わり、共に育てる姿勢があるとと思いますか。(今年度は直接参加する活動は実施していません)



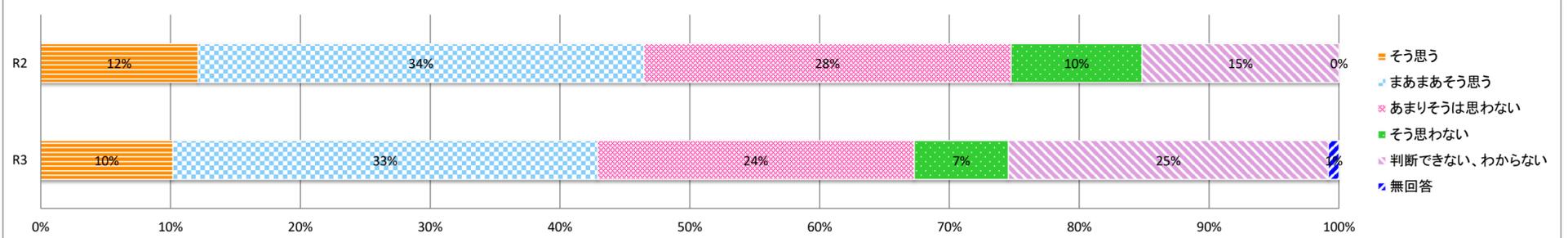
20 行事ごとのアンケートや学校教育アンケートの実施等により、保護者や地域の声を学校の教育活動に生かそうとしていますか。(今年度は一部実施)



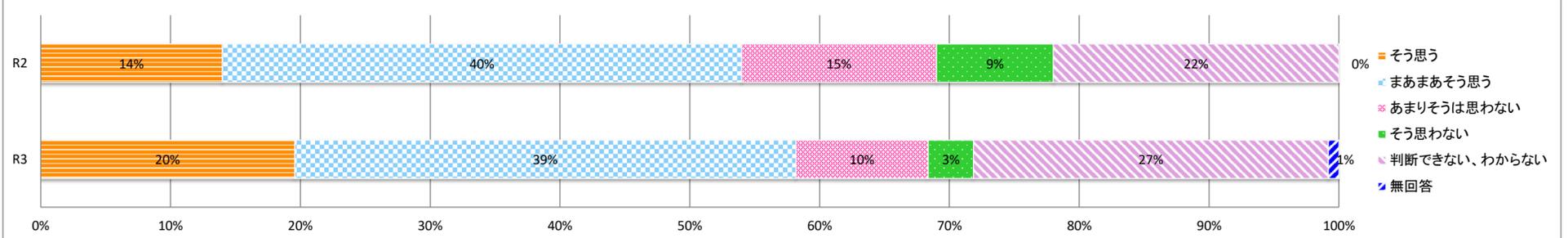
一年間保護者の方に校内に入ってくださいとできなかった昨年度と比べると、今年度は学校公開が2回、体育授業公開・展示会の2つの大きな行事を見ていただくことができました。制限が多い中ですが、少しでも生で学校の教育活動を見ていただいたことは大きかったということがこの項目の肯定的な評価からもわかりました。教育相談については、肯定的な評価と「判断できない・わからない」の両方が増えた項目です。相談室からの発信もあり、相談の予約件数は増えています。自由記述にも肯定的な意見と否定的な意見が寄せられています。どの学校でもカウンセラーの人数は同じため、大規模校である本校では相談室が抱える案件も多くなっています。今後の課題とさせていただきます。PTA役員の方々はネットや紙面を通して発信を続けてくださっていました。保護者と学校が共に子供を育てていく方法を常に模索していきたいと願っています。また、時代と共に変化するPTA、学校それぞれの役割を引き続き考えていきたいです。保護者の方や地域の方の声を教育活動に生かすためには、今後はネットによる双方向のコミュニケーションが必要になってくると考えられます。それらのことも今後は情報発信していきたいと思ひます。

【7】安全確保・安全指導

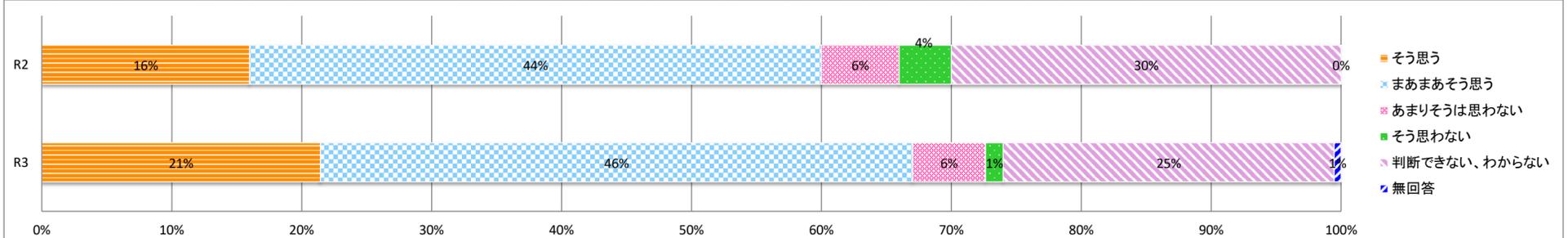
21 学校侵入者への対策がしっかりしていると思ひますか。



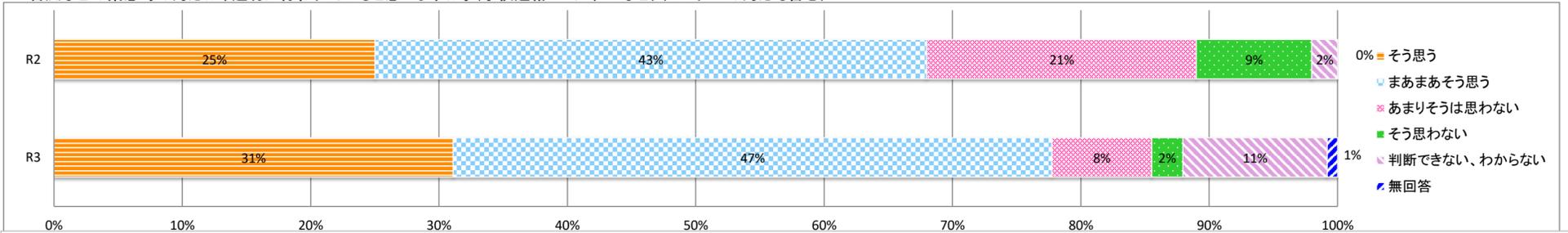
22 安全安心ボランティアの活動を推進する等、連携による安全確保は十分であると思ひますか。



23 交通安全教室・万引き防止教室・自転車安全教室・薬物乱用防止教室・情報モラル講習会等で、安全面の指導を十分行っていると思ひますか。(今年度は一部実施)



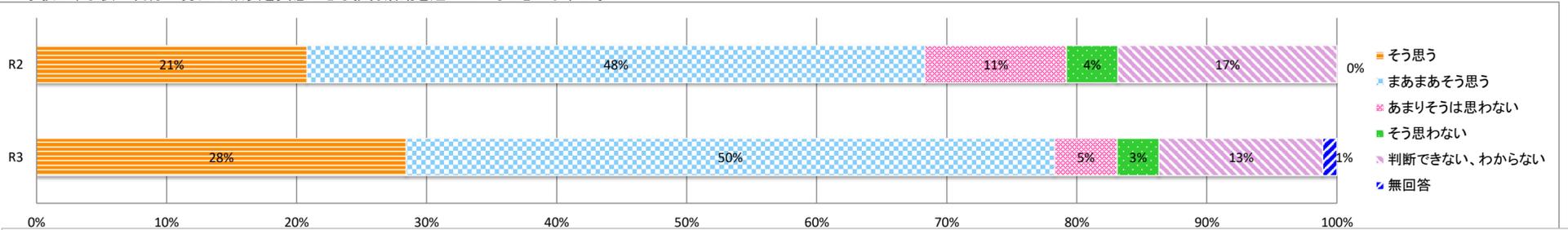
24 台風などの緊急時の対応が、適切に行われていると思ひますか。(学校連絡メール、HPなど)(コロナへの対応も含む)



侵入者対策については、毎年否定的な回答が多くなっています。数年分の調査を見ると年々数値が悪くなっていることがわかります。世の中全体で子供たちを取り巻く環境の安全性が悪化しているイメージがあるのかもしれませんが、学校でも、近所で不審者情報があった場合に警備員を依頼するなどの対応をしています。安全安心ボランティアの方との連携についても情報発信していく工夫をしていきたいと思ひます。安全教室等については、今年度実施できなかったものについては、当該学年と実施できなかった学年の両方を対象にする等、全児童が安全面の指導を受けられるよう考慮していきます。緊急対応については、昨年度より少し評価が高くなっています。今年度はコロナに対する対応が主な判断理由になっていると考えられます。今年度の経験を活かし、今後も緊急時の対応について検討していきたいと思ひます。

【8】全体

25 学校は、子供が自分の努力や成長を実感できる教育活動を進めていると思ひますか。



本校の教育活動について、肯定的な評価が増えています。コロナ禍でも教育活動ができる限り止めずに続けたことや縮小しながらも行事を行ったこと、保護者の方に校内を見ていただく機会を増やすことができたことなどが大きいと思ひます。「百聞は一見に如かず」ということが強く感じられたアンケート結果でした。紙面やHP、タブレットでの情報だけではなく、実際に見ていただくことが何よりも大きな発信になるのだということが身に染みてわかりました。保護者の方に安心していただくことで、子供たちにも安心が伝わると思ひます。来年度の状況はまだ先が見えませんが、この2年間で得たことを生かし、教育活動を発信し続けていきたいと考えています。

本アンケート全体を通して、概ね肯定的な評価をいただきました。しかし、厳しい評価をいただいているところもあり、教職員が真摯に受け止め、これからの教育活動の改善に向けて、学校組織として具体的な方策を練り、計画的に実行してまいります。今後も、学校・家庭・地域が共に、子供たちのために連携・協力・協議し、さらにそれぞれの役割を果たしていくことが重要です。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

**【9】自由記述について、**

たくさんのご意見・ご感想をいただきありがとうございました。質問が多く寄せられた3点についてお答えいたします。また、その他のご意見・ご感想は教職員で共有し、指導の改善に生かしていきます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**・登校時刻について**

登校時刻を早めてほしいというご意見がありましたが、来年度4月より、本校児童の登校時刻を遅くすることを学校だよりや保護者会でお伝えしたところです。都の規定では教職員の勤務開始時刻が8時15分となっていますので、それ以前に児童が登校したときは、対応が難しくなることも想定されます。ご理解をいただければと思います。

**・アンケートの記名について**

アンケートの記名は不要ではというご意見がありました。お気持ちは理解できますが、内容の確認をさせていただいたり、直接お話をお伺いしたりしたい場合もございます。記名があることで不利益になるようなことはありませんので、ご協力をお願いします。

**・正門の施錠について**

正門の施錠がされていないので、不審者侵入が気になるというご意見ですが、遅刻児童や来客等の出入りのため、正門のくぐり戸(小さな門)は施錠しておりません。来年度は本校の安全安心を確保するために保護者の皆様を中心に活動する「安心・安全ボランティア」の募集を強化し、正門や東の子モールの見守りやパトロールをお願いしたいと考えています。多くの皆様のご協力をくださいますようお願いいたします。